【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年4月18日(2025.4.18)

【公開番号】特開2025-61850(P2025-61850A)
【公開日】令和7年4月11日(2025.4.11)
【年通号数】公開公報(特許)2025-066
【出願番号】特願2025-11552(P2025-11552)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月7日(2025.4.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段の取得した特別情報を予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、
前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が付与情報に対応しているか否かの付与判定を行なう付与判定手段と、
前記付与判定手段による付与判定の結果が、判定対象の特別情報が前記付与情報に対応しているとする付与対応結果となったことに基づいて、遊技者に対して特典を付与可能な特典付与手段と、
前記付与判定手段により付与判定が行なわれることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記付与判定の判定結果に対応した報知結果とし前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の１回として、前記遊技回用動作が行なわれるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、
少なくとも実行前の遊技回の保留数を遊技者が認識できるように保留用報知を前記所定の報知手段又は当該所定の報知手段とは異なる報知手段にて行なう保留用報知手段と、
前記情報取得手段により取得された所定の特別情報について当該所定の特別情報が前記付与判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、その特別情報が前記付与判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、
前記先特定手段の特定結果に基づいて前記保留用報知の報知態様が通常態様とは異なる特定態様となるようにすることが可能な特定態様手段と、
を備え、
前記特定態様には、前記付与対応結果となることへの期待度が異なるようにして複数種類の態様が設定されており、
前記先特定手段の特定結果に基づき、前記保留用報知の報知態様を前記複数種類の態様のうちのいずれとするかの決定を行なう手段と、
前記特定態様の前記保留用報知について、当該保留用報知の報知態様が前記複数種類の態様のうちのいずれであるかを特定可能な所定情報が所定の記憶領域に記憶されるようにする手段と、
を備え、

第１演出状態において所定の保留用報知の報知態様が前記特定態様とされた状況で、少なくとも前記所定の保留用報知について前記特定態様による保留用報知又は保留用報知が不実行とされる第２演出状態となり得るように構成されており、
前記第２演出状態の終了後、少なくとも前記所定の保留用報知について、前記先特定手段の特定結果に基づく前記決定を行なうことなく、前記所定の記憶領域に記憶された前記所定情報に基づいて前記複数種類の態様のうち前記第２演出状態となる前の報知態様と同じ報知態様で保留用報知が行なわれるようにする実行手段を備え、
前記実行手段は、前記第２演出状態の終了後、前記所定の保留用報知について、前記通常態様での保留用報知が行なわれることなく、前記第２演出状態となる前の報知態様と同じ報知態様での保留用報知が行なわれるようにすることが可能であり、
前記第２演出状態で取得された特別情報についての前記先特定手段の特定が前記第２演出状態にて行なわれ得るように構成されており、
前記複数種類の態様は、第１態様と、前記第１態様より前記付与対応結果となることへの期待度が高い第２態様とを含み、
前記特定態様とされた前記所定の保留用報知の報知態様が前記第１態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、前記特定態様とされた前記所定の保留用報知の報知態様が前記第２態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、
前記第１演出状態から前記第２演出状態への移行が遊技者の操作を介することなく行なわれ得るように構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項２】
予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段の取得した特別情報を予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、
前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が付与情報に対応しているか否かの付与判定を行なう付与判定手段と、
前記付与判定手段による付与判定の結果が、判定対象の特別情報が前記付与情報に対応しているとする付与対応結果となったことに基づいて、遊技者に対して特典を付与可能な特典付与手段と、
前記付与判定手段により付与判定が行なわれることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記付与判定の判定結果に対応した報知結果とし前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の１回として、前記遊技回用動作が行なわれるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、
実行前の遊技回の保留数を遊技者が認識できるようにする表示と、保留されていた遊技回の実行を遊技者が認識できるようにする表示とが可能な保留表示を前記所定の報知手段又は当該所定の報知手段とは異なる報知手段にて行なう手段と、
前記情報取得手段により取得された所定の特別情報について当該所定の特別情報が前記付与判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、その特別情報が前記付与判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、
前記先特定手段の特定結果に基づいて前記保留表示の表示態様が通常態様とは異なる特定態様となるようにすることが可能な特定態様手段と、
を備え、
前記特定態様には、前記付与対応結果となることへの期待度が異なるようにして複数種類の態様が設定されており、
前記先特定手段の特定結果に基づき、前記保留表示の表示態様を前記複数種類の態様のうちのいずれとするかの決定を行なう手段と、
前記特定態様の前記保留表示について、当該保留表示の表示態様が前記複数種類の態様のうちのいずれであるかを特定可能な所定情報が所定の記憶領域に記憶されるようにする手段と、
を備え、

第１演出状態において所定の保留表示の表示態様が前記特定態様とされた状況で、少なくとも前記所定の保留表示について前記特定態様による保留表示又は保留表示が不実行とされる第２演出状態となり得るように構成されており、
前記第２演出状態の終了後、少なくとも前記所定の保留表示について、前記先特定手段の特定結果に基づく前記決定を行なうことなく、前記所定の記憶領域に記憶された前記所定情報に基づいて前記複数種類の態様のうち前記第２演出状態となる前の表示態様と同じ表示態様で保留表示が行なわれるようにする実行手段を備え、
前記実行手段は、前記第２演出状態の終了後、前記所定の保留表示について、前記通常態様での保留表示が行なわれることなく、前記第２演出状態となる前の表示態様と同じ表示態様での保留表示が行なわれるようにすることが可能であり、
前記第２演出状態で取得された特別情報についての前記先特定手段の特定が前記第２演出状態にて行なわれ得るように構成されており、
前記複数種類の態様は、第１態様と、前記第１態様より前記付与対応結果となることへの期待度が高い第２態様とを含み、
前記特定態様とされた前記所定の保留表示の表示態様が前記第１態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、前記特定態様とされた前記所定の保留表示の表示態様が前記第２態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、
前記第１演出状態から前記第２演出状態への移行が遊技者の操作を介することなく行なわれ得るように構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
例えばパチンコ遊技機等の遊技機においては、所定の抽選契機に基づいて抽選処理を実行し、その抽選結果が特定結果となった場合、遊技者に所定の特典を付与するものが知られている（例えば特許文献１参照）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
ここで、上記例示したような遊技機等においては遊技演出を行う上で未だ改善の余地がある。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、好適に遊技演出を行うことが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】
本願の第１発明は、
予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段の取得した特別情報を予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、
前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が付与情報に対応しているか否かの付与判定を行なう付与判定手段と、
前記付与判定手段による付与判定の結果が、判定対象の特別情報が前記付与情報に対応しているとする付与対応結果となったことに基づいて、遊技者に対して特典を付与可能な特典付与手段と、
前記付与判定手段により付与判定が行なわれることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記付与判定の判定結果に対応した報知結果とし前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の１回として、前記遊技回用動作が行なわれるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、
少なくとも実行前の遊技回の保留数を遊技者が認識できるように保留用報知を前記所定の報知手段又は当該所定の報知手段とは異なる報知手段にて行なう保留用報知手段と、
前記情報取得手段により取得された所定の特別情報について当該所定の特別情報が前記付与判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、その特別情報が前記付与判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、
前記先特定手段の特定結果に基づいて前記保留用報知の報知態様が通常態様とは異なる特定態様となるようにすることが可能な特定態様手段と、
を備え、
前記特定態様には、前記付与対応結果となることへの期待度が異なるようにして複数種類の態様が設定されており、
前記先特定手段の特定結果に基づき、前記保留用報知の報知態様を前記複数種類の態様のうちのいずれとするかの決定を行なう手段と、
前記特定態様の前記保留用報知について、当該保留用報知の報知態様が前記複数種類の態様のうちのいずれであるかを特定可能な所定情報が所定の記憶領域に記憶されるようにする手段と、
を備え、
第１演出状態において所定の保留用報知の報知態様が前記特定態様とされた状況で、少なくとも前記所定の保留用報知について前記特定態様による保留用報知又は保留用報知が不実行とされる第２演出状態となり得るように構成されており、
前記第２演出状態の終了後、少なくとも前記所定の保留用報知について、前記先特定手段の特定結果に基づく前記決定を行なうことなく、前記所定の記憶領域に記憶された前記所定情報に基づいて前記複数種類の態様のうち前記第２演出状態となる前の報知態様と同じ報知態様で保留用報知が行なわれるようにする実行手段を備え、
前記実行手段は、前記第２演出状態の終了後、前記所定の保留用報知について、前記通常態様での保留用報知が行なわれることなく、前記第２演出状態となる前の報知態様と同じ報知態様での保留用報知が行なわれるようにすることが可能であり、
前記第２演出状態で取得された特別情報についての前記先特定手段の特定が前記第２演出状態にて行なわれ得るように構成されており、
前記複数種類の態様は、第１態様と、前記第１態様より前記付与対応結果となることへの期待度が高い第２態様とを含み、
前記特定態様とされた前記所定の保留用報知の報知態様が前記第１態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、前記特定態様とされた前記所定の保留用報知の報知態様が前記第２態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、
前記第１演出状態から前記第２演出状態への移行が遊技者の操作を介することなく行なわれ得るように構成されていることを特徴とする。

また、本願の第２発明は、
予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段の取得した特別情報を予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、
前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が付与情報に対応しているか否かの付与判定を行なう付与判定手段と、
前記付与判定手段による付与判定の結果が、判定対象の特別情報が前記付与情報に対応しているとする付与対応結果となったことに基づいて、遊技者に対して特典を付与可能な特典付与手段と、
前記付与判定手段により付与判定が行なわれることに基づいて遊技回用動作が開始され、
前記付与判定の判定結果に対応した報知結果とし前記遊技回用動作が終了されることを遊技回の１回として、前記遊技回用動作が行なわれるように所定の報知手段を制御する遊技回制御手段と、
実行前の遊技回の保留数を遊技者が認識できるようにする表示と、保留されていた遊技回の実行を遊技者が認識できるようにする表示とが可能な保留表示を前記所定の報知手段又は当該所定の報知手段とは異なる報知手段にて行なう手段と、
前記情報取得手段により取得された所定の特別情報について当該所定の特別情報が前記付与判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、その特別情報が前記付与判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、
前記先特定手段の特定結果に基づいて前記保留表示の表示態様が通常態様とは異なる特定態様となるようにすることが可能な特定態様手段と、
を備え、
前記特定態様には、前記付与対応結果となることへの期待度が異なるようにして複数種類の態様が設定されており、
前記先特定手段の特定結果に基づき、前記保留表示の表示態様を前記複数種類の態様のうちのいずれとするかの決定を行なう手段と、
前記特定態様の前記保留表示について、当該保留表示の表示態様が前記複数種類の態様のうちのいずれであるかを特定可能な所定情報が所定の記憶領域に記憶されるようにする手段と、
を備え、
第１演出状態において所定の保留表示の表示態様が前記特定態様とされた状況で、少なくとも前記所定の保留表示について前記特定態様による保留表示又は保留表示が不実行とされる第２演出状態となり得るように構成されており、
前記第２演出状態の終了後、少なくとも前記所定の保留表示について、前記先特定手段の特定結果に基づく前記決定を行なうことなく、前記所定の記憶領域に記憶された前記所定情報に基づいて前記複数種類の態様のうち前記第２演出状態となる前の表示態様と同じ表示態様で保留表示が行なわれるようにする実行手段を備え、
前記実行手段は、前記第２演出状態の終了後、前記所定の保留表示について、前記通常態様での保留表示が行なわれることなく、前記第２演出状態となる前の表示態様と同じ表示態様での保留表示が行なわれるようにすることが可能であり、
前記第２演出状態で取得された特別情報についての前記先特定手段の特定が前記第２演出状態にて行なわれ得るように構成されており、
前記複数種類の態様は、第１態様と、前記第１態様より前記付与対応結果となることへの期待度が高い第２態様とを含み、
前記特定態様とされた前記所定の保留表示の表示態様が前記第１態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、前記特定態様とされた前記所定の保留表示の表示態様が前記第２態様である状況で前記第１演出状態から前記第２演出状態に移行することが可能であり、
前記第１演出状態から前記第２演出状態への移行が遊技者の操作を介することなく行なわれ得るように構成されていることを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、好適に遊技演出を行うことが可能となる。